



## 草の根・人間の安全保障無償資金協力2案件署名式 (供与総額：290,903.00米ドル)

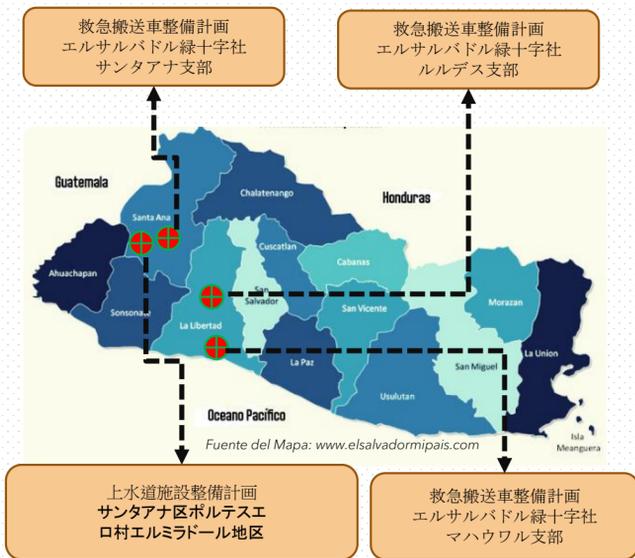
2024年12月18日、在エルサルバドル日本国大使館は、プロジェクトの実施に関する2つの重要な資金協力契約に署名しました。



プロジェクトは、サンタアナ県ポルテスエロ村に上水道を整備し、最寄りの谷まで水汲みに行く長時間労働を軽減し385人以上の住民と初等学校に利益をもたらす。



もう1つのプロジェクトは、エルサルバドル緑十字社3支部に救急搬送車を寄贈し、マハウワル、ルルデス、サンタアナ地域の50万人以上の住民に利益をもたらし、病院到着前のケアを提供し、洪水や火山の緊急事態を含む一般的な緊急避難をサポートする。



署名式には、星野芳隆駐エルサルバドル日本国大使とともに、ロベルト・ビジャコルタ・ワールドビジョン・エルサルバドル代表、カンディダ・イサベル・レムス・エルミラドール地区村落開発協会会長、ルイス・エドガルド・コロラド・エルサルバドル緑十字社社長が臨席した。

エルミラドール地区の上水道施設設置プロジェクトでは、コミュニティ住民が同施設の建設に参加する。

本案件に関係した村落開発協会やNPOすべての方々の協力により総額304,382.69米ドルを準備し、その内290,903.00米ドルが日本による援助であったことを明記することは重要である。



駐エルサルバドル  
日本国大使 星野芳隆

本日、草の根・人間の安全保障無償資金協力として、サンタアナ県ポルテスエロ村の上水道施設整備計画及びエルサルバドル緑十字社3支部への救急搬送車整備計画の2契約に署名することを大変光栄に思う。

当館の支援にあたり重要なことは、日本による経済的支援自体ではなく、プロジェクトを実施するにあたり各申請団体が持つ意思と能力である。治安改善によって大きく変革しつつあるエルサルバドルにおいて、さらなる社会・経済発展に向けて、引き続き、当館はコミュニティ支援を行っていく。



ワールドビジョン  
エルサルバドル代表  
ロベルト ビジャコルタ

まずはじめに、在エルサルバドル日本国大使館がエルサルバドルコミュニティに対し30年以上にわたり援助を継続してきたことに感謝する。住民が受益するプロジェクトを実施するにあたり、本日は特にサンタアナ県ポルテスエロ村のための援助であるが、同大使館がコミュニティにもたらす信頼を我々は認め評価する。

ワールドビジョンエルサルバドルとしては、上水道施設整備のようなプロジェクトを応援することは光栄であり、こうしたプロジェクトはポルテスエロ村に多大な利益を与えることとなるであろうし、その夢は近日中に現実のものとなるであろう。



エルミラドール地区  
村落開発協会会長  
カンディダ イサベル レムス

我々の上水道施設整備計画への支援に対し、在エルサルバドル日本国大使館とワールドビジョン・エルサルバドルに感謝する。ポルテスエロ村では、水不足が非常に深刻であり、日々飲料水を汲みに出かけなければならない。そのため、この多大な支援に対し、裨益者のひとりであることに誇りを感じるとともに、我々を信頼してくださることに心より謝辞を申し上げる。



エルサルバドル緑十字社代表  
ルイス エドガルド コロラド

我が国において日々の救命活動を不眠不休で行う隊員にとって、救急搬送車は必要不可欠なものとなる。我々の社会における安全状況は改善されつつあるが、対応すべき緊急事態は常に存在する。本日契約した救急搬送車はできる限り長く大切に使用し、多くの命を救えるよう約束する。こうした援助に対し在エルサルバドル日本国大使館に感謝の意を表する。

在エルサルバドル日本国大使館が「草の根・人間の安全保障無償資金協力」を通じて実施している案件は、「人間の安全保障」の概念である「人間一人ひとりに着目し、生存・生活・尊厳に対する広範かつ深刻な脅威から人々を守り、それ

ぞれの持つ豊かな可能性を実現するために、保護と能力強化を通じて持続可能な個人の自立と社会づくりを促す考え方」のもと、エルサルバドル国民、特に国内で最も脆弱な地域の生活環境の質を改善しようと試みるものである。